

報道関係各位

白金一丁目東部北地区市街地再開発組合
東京建物株式会社
株式会社長谷工コーポレーション
住友不動産株式会社
野村不動産株式会社
三井不動産レジデンシャル株式会社

「住宅」「商業」「工場」「医療施設」など、多彩な都市機能を維持・更新する街づくり

白金一丁目東部北地区第一種市街地再開発事業

『SHIROKANE The SKY(白金ザ・スカイ)』着工

山手線内最大戸数 1,247 戸^{*1}の大規模複合再開発

モデルルーム事前案内会 8月24日より開始

白金一丁目東部北地区市街地再開発組合および事業協力者兼参加組合員として参画している株式会社長谷工コーポレーション、また、参加組合員として参画している東京建物株式会社（幹事企業）、住友不動産株式会社、野村不動産株式会社、三井不動産レジデンシャル株式会社は、ともに「白金一丁目東部北地区第一種市街地再開発事業」を進めています。

本再開発事業は、山手線内最大の住宅戸数 1,247 戸^{*1}を供給する大規模複合開発『SHIROKANE The SKY (白金ザ・スカイ)』（敷地面積約 11,087 m²以下「本事業」）として、7月26日に起工式を執り行い、8月1日に着工いたします。なお、モデルルームは8月24日にオープンし、建物完成は2022年12月を予定しています。

※1: 1993年～2019年1月15日までのMRC調査・捕捉に基づく分譲マンションデータで山手線内側の供給物件で最大戸数。

本事業は、質の高い居住環境を整備するとともに、街区再編による土地の集約化、周辺道路や歩行者空間等の整備や幹線道路沿道の電線類の地中化等を行い、土地の高度利用を企図しています。事務所や工場など既存都市機能の維持と機能更新を図り、“住・商・工・医”が調和した複合的な街づくりを実現します。



建物完成予想図

【本事業について】

本地区は、東京メトロ・都営地下鉄「白金高輪」駅徒歩3分という交通利便性の高い地でありながら、住宅・工場・事務所・生活利便施設等が混在し、建築物の老朽化、安全な歩行者空間の確保、古川の増水による浸水被害等、多くの課題を抱えており、街区の再編と更新が求められていました。このため、2004年の「白金のまちを考える会」発足以降、安全・安心・快適なまちづくりを目指し、地権者の皆様の地道な努力により、2009年に再開発準備組合が設立されました。その後、2013年の都市計画決定、2015年の再開発組合設立、2018年の権利変換計画認可を経て今日に至っています。

本事業により、地元にも密着し都市型産業を支えてきた既存の工場や事務所、店舗、病院等の都市機能の維持と更新を図りつつ、“住・商・工・医”が一体となった地域の新たなランドマークとして、街の魅力を更に向上させていきます。



本事業計画地



従前の本事業計画地(黄色部分、2015年2月時点)

【「SHIROKANE The SKY」の特長】

(1) 「白金高輪」駅徒歩3分、白金の上質な住環境と品川・田町エリアの利便性も享受する立地
由緒ある都心の高級住宅街として人々に住み継がれてきた白金エリアは、「広尾」「恵比寿」「六本木」に近接。未来の日本の玄関口“アジアヘッドクォーター特区”として目覚ましい発展を遂げている品川・田町エリアにも至近で、2020年春に暫定開業するJR「高輪ゲートウェイ駅」から1.5km圏に位置します。周辺は独自の文化を醸成してきたプラチナ通りや、創業100年を超える老舗が並ぶ歴史ある白金商店街も身近にある他、「慶応義塾幼稚舎」「頌栄女学院」「北里大学」「明治学院大学」「白金の丘学園」「聖心女子学院」などの教育施設が位置する文教地区でもあります。

(2) 新しい街並み形成に必要な都市機能の維持・更新

敷地規模を活かして街区再編と土地利用の整序・集約化により新たな建物を3棟建設し、「住宅」「商業」「工場」「医療施設」が調和した複合市街地を実現します。高品質な多世代向け住宅を整備することで、従前からの地域コミュニティを活かしつつ、新たなコミュニティ形成と賑わいの創出を目指します。

① 良好な都心居住の推進のため、山手線内最大戸数となる1,247戸の住宅を整備

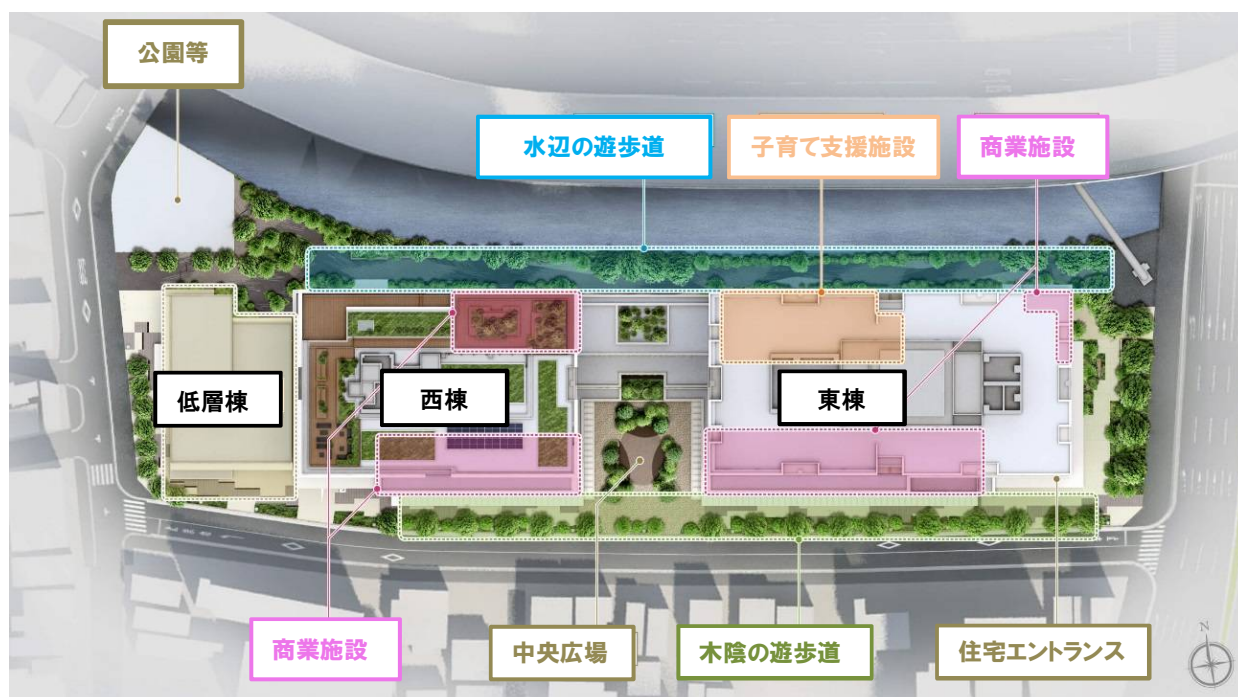
- ・東棟（地上45階建て）と西棟（地上19階建て）は、定住性が高く多様な世代に対応する分譲住宅を中心に、低層部（1,2階）に商業施設や子育て支援施設を整備
- ・低層棟（地上4階建て）は、地域産業の発展を支えてきた事務所・工場機能と地域住民等の健康に寄与してきた医療施設を集約

② 地区内外の安全性と景観の向上を図るための各施策

- ・幹線道路沿道の電線類の地中化
- ・道路の拡幅や歩行者空間の拡充
- ・防災機能を備えた中央広場等の整備
（災害時には地域住民や帰宅困難者の一時集合場所にも利用でき、地区内の住民及び地域住民のための防災倉庫やかまどベンチ等、被災後の生活維持に求められる防災施設を整備）

③ 敷地道路側に「木陰の遊歩道」、古川沿いに「水辺の遊歩道」を整備

敷地内の積極的な緑化や古川沿いに緑あふれる歩行者通路・公共空地等を整備し、古川へのアクセス性を高め、ゆとりと潤いある水辺空間を創出



配置図

(3) 光井純氏デザイン監修による白金の新しいランドマーク

白金の新しいシンボルとなることを目指し、光井純氏が周囲の街並と調和するデザイン監修を手がけています。都心にありながら緑や水などの自然を感じるランドスケープ、西棟屋上庭園からは東京タワーを含めた都心の眺望も望めます。



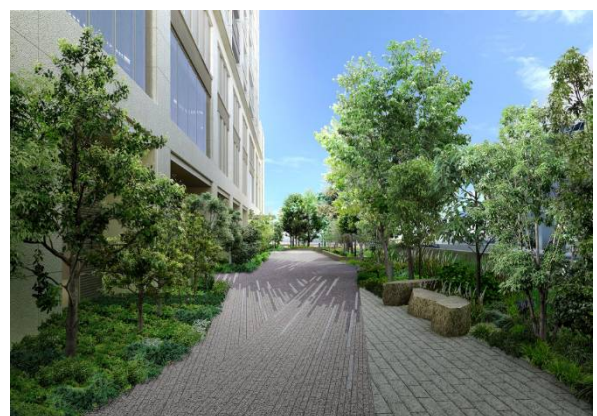
建物外観イメージ



中央広場と1階店舗



歩行者空間に面する店舗



水辺の遊歩道

(4) 大規模ならではの充実した共用部

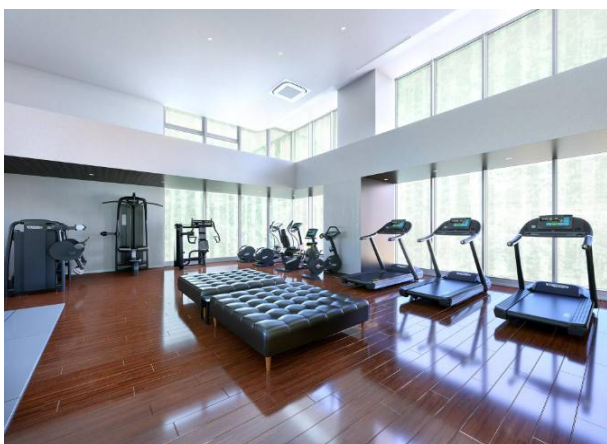
ゴルフレンジやフィットネスジム、シアタールームやキッチンスタジオ、パーティールームなどの日々を彩る施設を整備。各棟のラウンジからはタワーマンションならではのダイナミックな眺望をお愉しみいただけます。また、ビジネスにも利用できるスタディールーム、カンファレンスルームや約 100mに及ぶ高級感あふれるエントランスホールなど、大規模ならではの多彩な共用部を装備。利便性だけでなく優雅な暮らしをもたらします。



東棟エントランス



エントランスホール



フィットネスジム(西棟 2 階)



スカイラウンジ(東棟 27 階)

(5) 再開発事業の実績を重ねた大手デベロッパー5社のノウハウをもとに、一丸で取り組むプロジェクト

白金を舞台に大手デベロッパー5社が結集し、各社のノウハウを注いだ総戸数 1,247 戸という大規模マンションを創造します。参加組合員として、再開発組合の皆さまとともに事業を推進し、保留床として住宅部分の一部を取得、分譲します。

【再開発事業の経緯等】

2004年06月 『白金のまちを考える会』発足
2005年02月 『白金一丁目北地区再開発研究会』設立
2009年10月 『白金一丁目北地区北街区市街地再開発準備組合』設立
2011年09月 『白金一丁目東部北地区市街地再開発準備組合』に名称変更
2013年07月 『白金一丁目東部北地区地区計画』及び『白金一丁目東部北地区第一種市街地再開発事業』都市計画決定告示
2015年04月 『白金一丁目東部北地区市街地再開発組合』設立認可
2018年03月 権利変換計画認可
2019年08月 着工
2023年03月 竣工（予定）

【施行地区、事業および施行者の名称】

地区の名称：白金一丁目東部北地区
所在地：東京都港区白金一丁目1000番
事業の名称：白金一丁目東部北地区第一種市街地再開発事業
施行者の名称：白金一丁目東部北地区市街地再開発組合

<白金一丁目東部北地区市街地再開発組合>

理事長：押見 裕司（オミ ユウジ）

[理事会 理事14名(理事長含む) 監事3名]

参加組合員：東京建物、長谷エコーポレーション、住友不動産、野村不動産、三井不動産レジデンシャル

コンサルタント：佐藤不動産鑑定コンサルティング、上野計画事務所、嶋田公認会計士事務所、日本工営、アイデア

設計：梓設計

施工：大林・長谷工建設共同企業体

事業協力：長谷エコーポレーション（事務局員の派遣、施設計画の企画・立案等）

【『SHIROKANE The SKY（白金ザ・スカイ）』物件概要】

所在地：東京都港区白金一丁目1000番

交通：東京メトロ南北線・都営三田線「白金高輪」駅徒歩3分

総戸数：1,247戸（うち非分譲住戸477戸を含む）

住戸専有面積：23.94㎡～147.10㎡

間取り：STUDIO～4LDK

敷地面積：11,087.01㎡

延床面積：134,941.82㎡

建築面積：6,628.17㎡

予定価格：未定

販売時期：未定

構造/建物階数：鉄筋コンクリート造地上45階、地下1階建て一部鉄骨造
（東棟：45階建て、西棟：19階建て、低層棟：4階建て）

売主：東京建物/長谷エコーポレーション/住友不動産/野村不動産/三井不動産レジデンシャル

設計・監理：梓設計

デザイン監修：光井純アンドアソシエイツ建築設計事務所

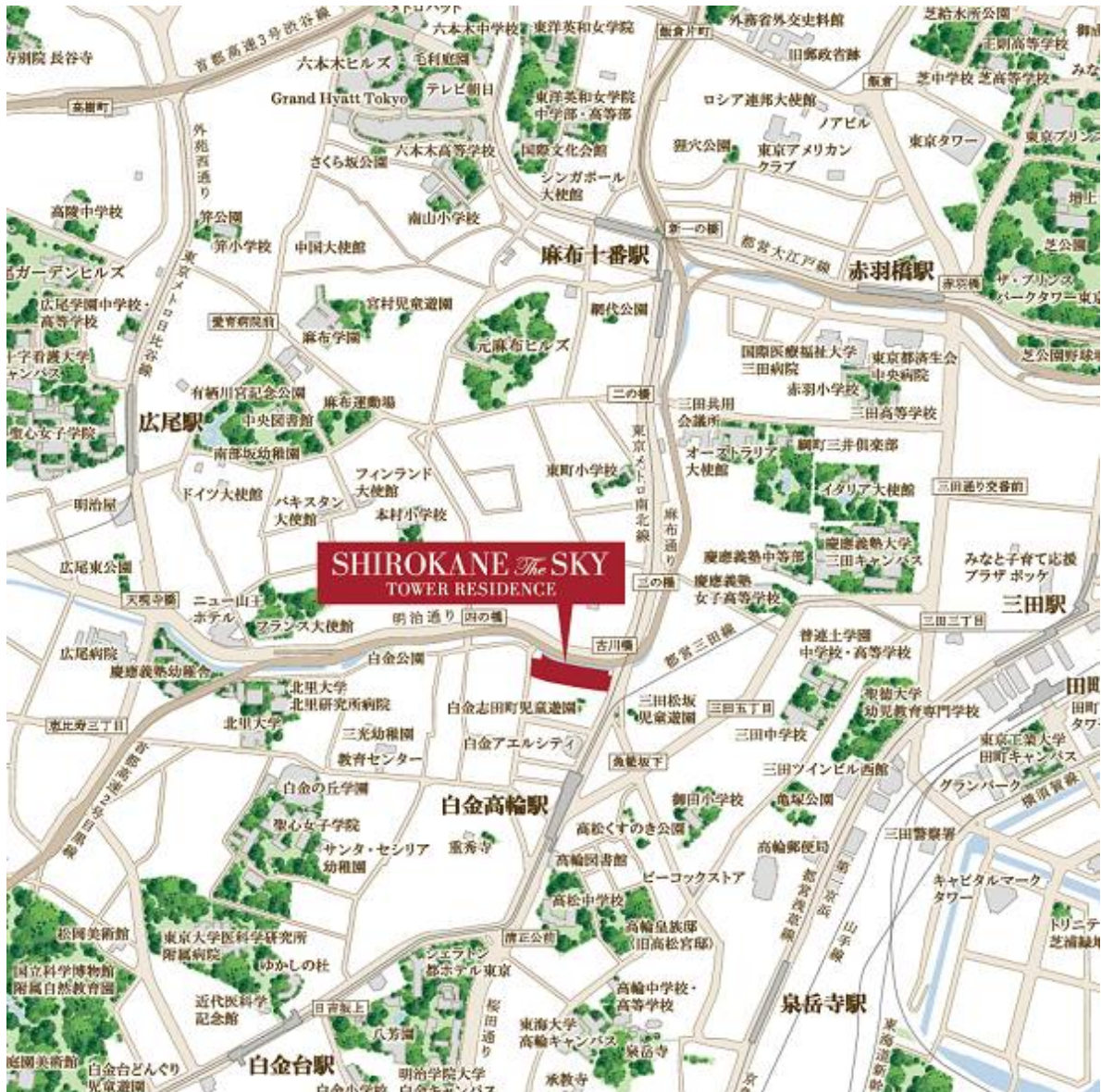
施工：大林・長谷工建設共同企業体

建物完成予定日：2022年12月下旬（予定）

入居開始予定日：2023年3月下旬（予定）

URL：<https://www.shirokane-sky.jp/>

【位置図】



以上